

【プログラムの内容】

加工品開発などを含めた六次産業化によって、地域農作物の高付加価値化と持続可能な農業経営を目指す観光農園の試みを学べます。フルーツライン沿いにあり、大型バスの駐車も十分可能です。

- ▶（事前）観光農園とは？農家？販売店？ どのようなところかを調べる
- ▶（現地）概要説明とブドウ育成の講話と体験
- ▶（事後）自分の地元産品の「工夫」を調べる

【SDGs「17の目標（ゴール）」と169のターゲット】

- ▶ゴール 4（ターゲット4.7） 持続可能な開発促進の基盤としての学習機会を提供する。
- ▶ゴール 8（ターゲット8.9） 産品販促を通して持続可能な観光を促進する。



観光農園はどんなところ？



ブドウ育成の工夫とは？



体験してみよう



全員でがんばっています！

事前学習

- ▶観光農園の特徴を学ぶ
（あづま果樹園HPなど）
- 観光農園はどのようなことをしているところだろうか
（体験？オンラインショップ？）

【施設で対応できること】

- ▶リモート対応要相談

現地学習

- ▶観光農園概要案内
- ▶ブドウ育成についてのお話
食べた後の房を見ながらブドウの育成について学び、
実際にその時期に可能な作業を行う（例：春＝芽かき、
夏＝摘粒、秋＝収穫、冬＝加工品）

事後学習

- ▶自分の地元特産品の「工夫」を調べる
例：加工の仕方、提供の仕方、デザイン、栽培方法
販売方法 などなど…

受入人数	40 ～ 120人
受入可能時期（休業日）	6月～9月下旬は無休
受入可能時間	9時 ～ 15時
体験時間	2時間（講話・体験・お買い物）

対象学齢	小学生、中学生、高校生
1人/1回 当たり料金	1,000 円 ※オンライン講話（人数に関係なく） 10,000 円
備考 （雨天対応等）	雨天時対応可

▶問い合わせ

企業/施設名称：あづま果樹園

担当名：吾妻 正一

TEL：024-542-1460

営業時間：9:00～15:00

休館日：12月中旬～5月まで休業

